

エコアクション21 環境経営レポート

発行日：2021年5月28日
(活動期間：2020年4月～2021年3月)

有限会社東北オイルサービス

目次

1. 環境方針と環境経営方針	2	ページ
2. 組織の概要	3	ページ
3. 環境経営活動実施体制	5	ページ
4. 環境経営活動の計画	6	ページ
5. 環境経営目標の実績・結果	7	ページ
6. 環境経営活動計画の取組と評価 及び次年度への取組内容	8	ページ
7. 環境経営活動の中期目標	9	ページ
8. 法の遵守状況の確認及び評価の 結果並びに違反、訴訟の有無	10	ページ
9. 代表者による全体評価と見直し の結果	10	ページ
10. 組織の概要(情報公開)	11	ページ



環境方針

有限会社東北オイルサービスは、廃棄物の処理を通じて循環型社会にあったエネルギー資源として提供し、事業者の生産活動の向上に寄与する。

環境経営方針

- 1、社業である再生可能な資源のリサイクルや廃棄物処理を通して、廃棄物の減量を目指し、社会に貢献します。
- 2、省エネルギー・省資源、環境美化等を含めた環境保全のための活動に取り組みます。
- 3、危険物の作業処理場の安全運転、安全作業、安全処理に努めます。
- 4、事業活動の中で環境汚染が生じる可能性があれば、未然に防止する努力をします。
- 5、環境関連の法規を遵守し、環境保全への取組みに努めます。
- 6、エコアクション21の活動を行い、継続的に改善します。

平成20年 5月 1日制定

令和 2年 9月18日改定

有限会社東北オイルサービス
代表取締役 熊谷 祐治

2. 事業の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名：有限会社東北オイルサービス
代表者名：代表取締役 熊谷 祐治
所在地：岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割54番地6
TEL：019-692-1125
FAX：019-692-1119
E-mail：oil-info@tohoku-oil-s.jp
HP：tohoku-oil-s.jp

2) 環境管理責任者等

環境管理責任者 佐々木 修造 エコアクション21事務局 小笠原 留美

3) 事業の規模

	2018年度	2019年度	2020年度
売上高(単位:千円)	110,443	113,705	96,838
従業員数(人)	9	10	10
※廃油処分量(t)	3,801.1	3,721.9	4,150.5
敷地面積(m ²)	2,516	2,516	2,516

※廃油処分量は、産業廃棄物及び有価物の合計となります。

4) 法人設立年月日・資本金

法人設立年月日 平成5年7月 資本金 350万円

5) 事業活動の内容

- ・廃油のリサイクル事業(中間処理業)
処分方法：中間処理(油水分離)
処理能力：廃油 8.0m³/日
処理工程：4ページ 8)フロー図に記載
- ・産業廃棄物収集運搬業(・廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・がれき類・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

6) 事業活動の内容

全社、全事業活動、全従業員を認証登録範囲とします。

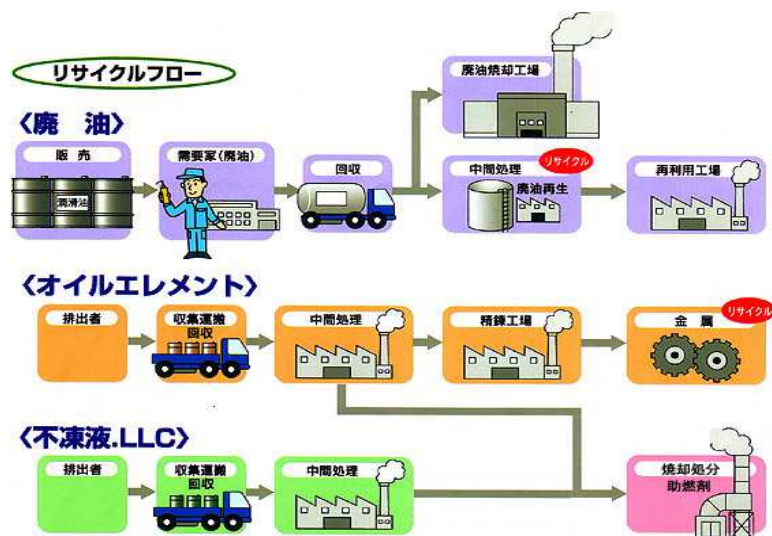
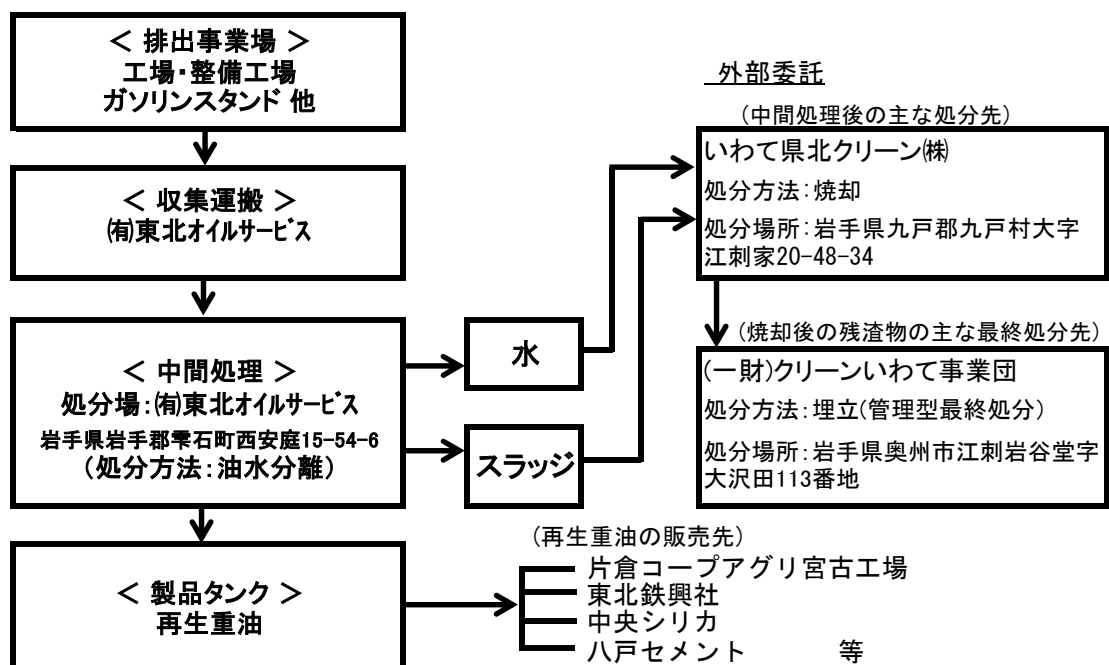
7) 案内図



8) 収集運搬車両の一覧

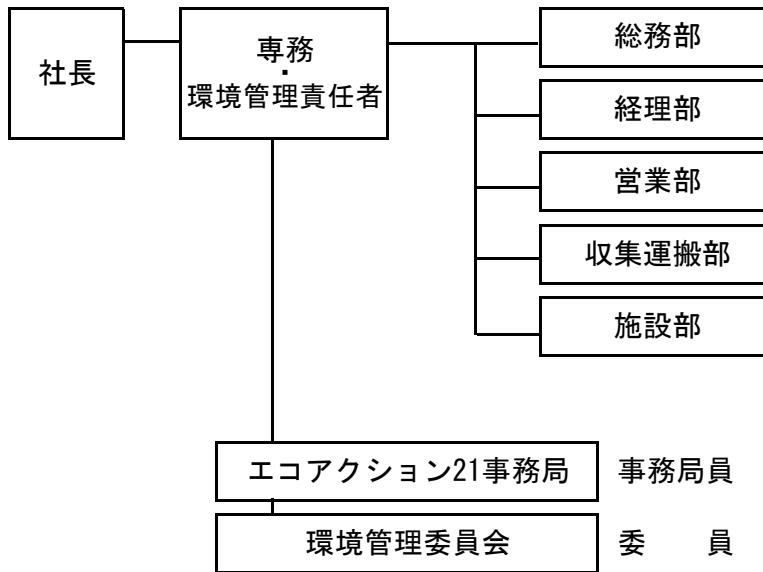
	車両番号	最大積載量	初年度登録	
①	岩手800は18-36(タンクローリー)	4.7KL	平成27年	
②	岩手800す97-37(タンクローリー)	3.1KL	平成27年	
③	岩手800す97-33(タンクローリー)	3.0KL	平成27年	
④	岩手800は10-21(タンクローリー)	5.0KL	平成20年	
⑤	岩手400と・1-88(3tトラック)	3,000kg	平成29年	
⑥	岩手100す79-32(4tトラック)	6,300kg	令和2年	
⑦	岩手800す50-78(タンパー)	2,400kg	平成9年	

9) 廃油の処理工程及び最終処分までのフロー図



3. 環境経営実施体制

1) 役割と責任・権限



2) 役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	社長	①環境方針の策定 ②環境管理責任者を任命する。 ③環境管理責任者からの報告を受け、全体見直しを行う。 ④取組に対する資源を用意する。 ⑤課題とチャンスの明確化 ⑥実施体制の構築
環境管理責任者	専務	①代表者に代わってシステムを構築し運用する。 ②代表者に結果を報告する。 下記項目を部門内で実施する。 ③必要な教育訓練を計画し実施する。
各部門責任者・ 環境管理委員会	部門責任者・ 環境管理委員	①省資源、省エネ、節水を奨励し実施する。 ②EA21目標達成の取組を推進し、チェックを行い環境管理責任者の了承のもと改善を行う。 ③苦情等の対策・予防処置の経過、結果の報告を受け改善を図る。 ④公害防止、緊急事態への予防処置を行う。
エコアクション21事務局	1名	①地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。 ②苦情への対策・予防処置対策を行う。 ③代表者に代わって環境管理責任者と共にシステムを構築し運用する。
従業員	従業員全員	①部門責任者のもと、省資源、省エネ、節水に努める。 ②EA21取組に関する教育訓練を受ける。

<EA21事務局及びコミュニケーション窓口連絡先>

住 所 : 岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割54番地6
 TEL : 019-692-1125
 FAX : 019-692-1119

4. 環境経営計画（2020年度 2020年4月～2021年3月）

環境項目	環境経営目標	内容
環境負荷低減	購入電力 (2019年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所及び休憩所、処理工場で必要のない電気は消灯し、使用していない電気コンセントは抜く。 ・エアコンの設定温度はできるだけ28度以上に設定し、暖房は20度以下にする。
	軽油使用量 (2019年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ、アイドリングストップ等により軽油使用量を削減する。 ・月毎の車両の燃料使用量及び走行距離を把握し各運転手の意識を高める。
	灯油使用量の把握及び削減 (2019年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房の温度設定を20度以下にする。 ・工場の稼働に無駄がないように努める。
	ガス使用量の把握及び削減 (2019年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス使用節約の張り紙をして、意識を高める。 ・必要最低限のガス使用量に努める。
	水使用量の把握及び削減 (2019年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の張り紙をして、意識を高める。 ・必要最低限の水使用量に努める。
	廃棄物量の把握及び削減削減 (2019年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の両面使用に努め、再利用できるものは再利用する。 ・ごみの分別をきちんとする。 ・事務用品等、詰め替え使用可能なものを積極的に使用する。
	オイル流出ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ・荷卸しの際は必ずタンク内の残量を確認する。 ・危険物取扱中は、その場を離れないこと。
環境配慮	再生重油普及への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・原料である廃油の再生利用の向上に努める。 ・廃棄物が貴重な原料であることを意識づける。
環境取組に有益	環境美化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・社内の清掃、草刈はもちろん、沿道の清掃等を行う。
	廃油回収	<ul style="list-style-type: none"> ・廃油の回収及び処分（リサイクル）を行い廃棄物の減量に努める。
その他の取組	環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物協会開催の講習会等への参加。

5. 環境経営の目標と結果

2020年度実績値

環境目標	目標内容	単位	目標値	2020年度	2021年度	2022年度
			2019.4月～2020.3月	2020.4月～ 2021.3月	2021.4月～ 2022.3月	2022.4月～ 2023.3月
			基準年（目標値） 2019年度実績値	実績値 目標達成率	目標値（2019年度実績値）	
CO2 排出量 の削減	消費電力量 削減	kg-CO2	11,648.64	14,696.35 79.3 %	11,648.64	11,648.64
	運搬車両の 軽油使用量 削減	kg-CO2	124,797.34	131,597.29 94.8 %	124,797.34	124,797.34
	ガス使用量 削減	kg-CO2	73.55	81.90 89.8 %	73.55	73.55
	灯油使用量 削減	kg-CO2	50,608.61	50,392.62 100.4 %	50,608.61	50,608.61
排水量の削減		m ³	563	634 88.8 %	563	563
一般廃棄 物削減	可燃・不燃ゴミ の削減、リサイクル、 分別	kg	64	102 62.7 %	64	64
廃油回収量		t	3,405	4,013 117.9 %	3,405	3,405

※購入電力のCO2排出係数は、2020年度の東北電力の実排出係数 0.528kg-CO2/kwhを使用しました。

※購入電力は、事務所及び処理施設全ての合計数量です。

※一般廃棄物の実績値は単純焼却の数量です。

※達成率＝（目標値÷実績値）×100で計算しています。

※2020年度からは、基準年を2019年度とします。

6. 環境経営の取組と評価及び次年度への取組内容

○環境活動の取組は、2019年度の実績値を目標とし活動しました。

① 温室効果ガスの削減

1) 消費電力（達成率：79.3%）

- ・電力使用量の削減目標は、達成することができませんでした。
- ・廃油の回収量が増え、工場の稼働時間が多くなったことが原因だと思われます。目標達成できませんでした。工場の稼働時間に無駄がないようにしました。
- ・エアコンの暖房とストーブを併用して使用したことも消費電力の増加の原因です。
- ・節電の意識は定着しています。（昼休憩の消灯、不要電気製品のコンセントを抜く、冷暖房の適正な温度設定等）次年度も節電を行い目標達成できるよう努めます。

2) 灯油（達成率：100.4%）

- ・灯油使用量の削減目標は、達成することができました。
- ・灯油使用量の大部分が処分場の機械の燃料になりますが、機械の稼働に無駄がないようにしました。
- ・冬期の暖房使用時の温度設定を20度もしくは20度以下に設定し灯油使用に無駄がないようにしました。次年度も灯油使用量の削減に努め、目標達成できるよう努めます。

3) 軽油（達成率：94.8%）

- ・軽油使用量の削減目標は、達成することができませんでした。
- ・廃油の回収量増加に伴い、軽油の使用量も増加したことが原因だと思われます。
- ・車両運転時のエコドライブは定着しています。引き続きエコドライブに努めます。

4) ガス（達成率：89.8%）

- ・ガス使用量の削減目標は、達成することができませんでした。
- ・夏場は、ガスの元栓締めの徹底（使用する場合は最低限にする。）し、冬場は、ガス給湯の使用を必要最小限に抑え節ガスに努めましたが、ガス使用量削減の目標達成することができませんでした。

② 排水量（達成率：88.8%）

- ・水使用量の削減目標は、達成することができませんでした。
- ・洗車の回数をなるべく減らし節水を心掛けました。更に日常の水の使用時にも無駄がないようにしました。
- ・次年度も節水を徹底し目標達成できるよう努めます。

③ 廃棄物の排出量（達成率：62.7%）

- ・廃棄物排出量の削減目標は、達成することができませんでした。
- ・ごみの分別を徹底し、なるべくごみが出ない商品の購入に努めました。
- ・倉庫の清掃を行い出てきた廃棄物が排出量増加の原因と思われます。
- ・次年度も分別を徹底し、ごみの削減に努め目標達成できるよう努めます。

④ 環境配慮製品：再生重油普及への取組み

- ・再生重油の原料である廃油の再生利用向上のため、油水（含油水）も回収し油分の再生利用に努めている。更に、再生重油の品質向上のため、油水分離機のストレーナーのメッシュを細かいものにし、質の良い再生重油の生産に努めています。
- ・廃油（廃棄物）を再生利用し、資源を有効活用していることを従業員に認識させています。

⑤ 廃油回収量（達成率：117.9%）

- ・廃油の回収量は、目標達成することができました。
- ・廃油の回収量が多くなったことにより、再生重油を多く供給することができました。

○環境活動の次年度への取組

2020年度の活動で目標達成できたのは灯油、廃油回収量の2項目でした。

未達成は、電気、軽油、ガス、水、廃棄物の5項目でした。エコアクションの活動はしっかりできており、活動に対する意識も定着しています。

次年度もエコアクションの活動をしっかり行い、目標達成出来るよう取組みます。

7. 環境経営の中期目標

環境目標	目標内容	単位	基準年度 (2019年度実績値)	目標		
				2019年度実績値		
			2020年度	2021年度	2022年度	
			2019年4月～ 2020年3月	2020年4月～ 2021年3月	2021年4月～ 2022年3月	2022年4月～ 2023年3月
基準値			目標値	目標値	目標値	
CO2 排出量 の削減	消費電力量 の削減	kg-CO2	11,648.64	11,648.64	11,648.64	11,648.64
	運搬車輛の 軽油使用量 の削減	kg-CO2	124,797.34	124,797.34	124,797.34	124,797.34
	ガス使用量 の削減	kg-CO2	73.55	73.55	73.55	73.55
	灯油使用量 の削減	kg-CO2	50,608.61	50,608.61	50,608.61	50,608.61
排水量削減		m ³	563	563	563	563
一般廃棄 物量削減	可燃・不燃 ゴミの削減、 リサイクル、分別	kg	64	64	64	64
廃油回収量		t	3,405	3,405	3,405	3,405

※2020年度から中期目標を見直ししています。

結果が、実績値と大幅に異なるまで目標値は変更しません。

※一般廃棄物の実績値は単純焼却の数量です。

※購入電力のCO2排出係数は、2020年度東北電力の実排出係数0.528kg-CO2/kwhを使用しています。(環境省報告発表)

※購入電力は、事務所及び処理施設全ての合計数量です。

8. 法の遵守と違反の有無

環境関連法規チェック表にて確認を行った結果、法規に違反はありません。また、苦情や訴訟に関しても苦情受付記録簿を確認しましたが、過去実例はありません。行政からの指摘事項も、過去ありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営方針は見直さず、活動を継続し、そのための実施体制も見直しません
2020年度の活動で達成できたのは、2項目「灯油の削減」、「廃油回収量」でした。
達成した項目は2項目ではありますが、前年より「廃油回収量」が増加したことにより、再生重油の供給も増加しリサイクルに貢献できたと思います。
「電力」、「灯油」は、廃油を処理するための工場稼働に必要なものです。目標未達成の要因となりましたが、従業員のエコアクションの活動は定着しております。
次年度も、引き続きエコアクションの活動をしっかり行い目標達成できるように活動していきたい。

<次年度への見直し点>

エコアクションの活動はできている。

2020年度から目標値を見直した為、目標達成が難しくなっているが、引き続きエコアクションの活動をしっかり行う。

次年度は、全項目目標達できるよう従業員一同より一層エコアクションの活動に取り組めます。



10. 組織の概要（情報公開）

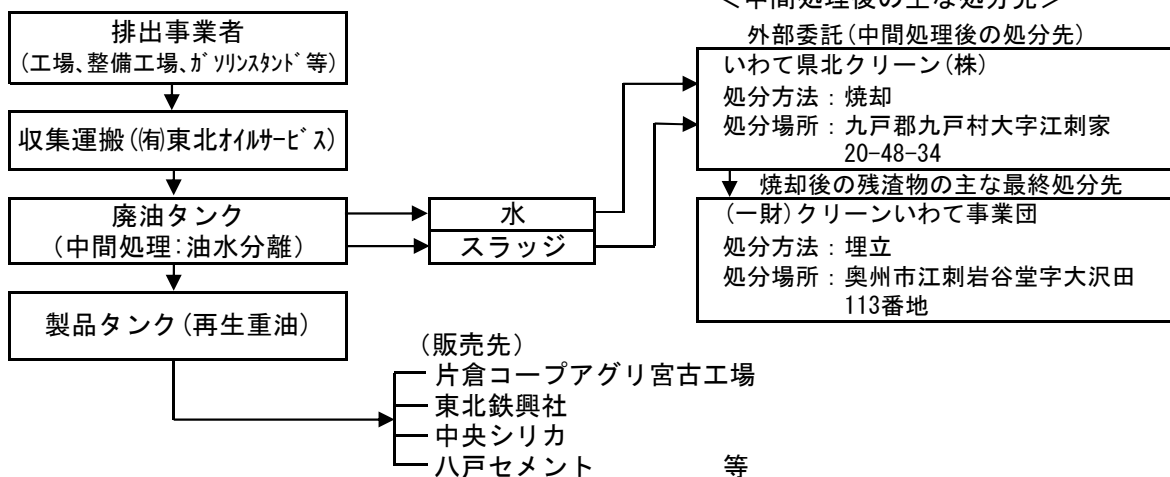
事業所名		有限会社東北オイルサービス				
代表者名		代表取締役 熊谷 祐治				
所在地		岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割54番地6				
環境管理責任者		佐々木 修造				
エコアクション21担当者		小笠原 留美				
連絡先		電話	019-692-1125	FAX	019-692-1119	
		E-mail	oil-info@tohoku-oil-s.jp			
		URL	http://tohoku-oil-s.jp			
事業活動の内容		ガソリンスタンド、自動車整備工場、工場等から排出される廃油の収集運搬及び処分（リサイクル）と、廃エレメント（金属くず）、廃プラスチック類、廃アルカリ、汚泥等の収集運搬を行っております。				
事業の規模	事業年度	2017年度(単位:t)	2018年度(単位:t)	2019年度(単位:t)	2020年度(単位:t)	
	売上高(単位:千円)	93,614	110,443	113,705	96,838	
	(産廃)廃油収集運搬量	3,646.5	3,902.6	3,534.4	3,962.6	
	(特管)廃油収集運搬量	36.0	32.7	40.7	50.5	
	(産廃)廃棄物金属くず収集運搬量	103.8	108.7	106.0	102.6	
	(産廃)プラスチック類収集運搬量	31.2	33.5	33.8	32.8	
	(産廃)廃アルカリ収集運搬量	93.0	115.5	109.2	99.3	
	(産廃)汚泥	98.0	115.1	97.5	124.8	
	(産廃)廃酸	0.3	0.0	0.0	0.0	
	(産廃)ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.4	0.2	0.5	0.1	
	(産廃)木くず	0.3	0.0	0.1	0.1	
	(産廃)廃油処分量	3,469.0	3,758.7	3,680.2	4,090.3	
	(特管)廃油処分量	33.5	42.4	41.7	60.3	
	社員・従業員(名)	9	9	10	10	
法人設立年月日	平成5年7月		資本金	350万円		
許可の内容	許可名/許可番号	許可の有効年月日		事業計画・事業の範囲(事業区分、廃棄物の種類)		
	岩手県産業廃棄物収集運搬業 00301007476	許可	平成30年8月6日		廃油、汚泥、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
		有効	令和5年8月5日			
	岩手県特別管理産業廃棄物収集運搬業 00301007476	許可	平成30年8月6日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く)、廃酸(水素イオン2.0以下)	
		有効	令和5年8月5日			
	岩手県産業廃棄物処分業 00321007476	許可	平成30年8月6日		廃油(特別管理産業廃棄物であるものを除く)	
		有効	令和5年8月5日			
	岩手県特別管理産業廃棄物処分業 00351007476	許可	平成30年8月18日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く)	
		有効	令和5年8月17日			
	青森県産業廃棄物収集運搬業 00201007476	許可	令和1年9月17日		廃油(特別管理産業廃棄物であるものを除く)	
		有効	令和6年9月16日			
	青森県特別管理産業廃棄物収集運搬業 00251007476	許可	令和1年9月17日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く)	
		有効	令和6年9月16日			
	秋田県産業廃棄物収集運搬業 00506007476	許可	令和1年8月23日		廃油(特別管理産業廃棄物であるものを除く)	
有効		令和6年8月22日				
秋田県特別管理産業廃棄物収集運搬業 00556007476	許可	令和1年8月23日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く)		
	有効	令和6年8月22日				
宮城県産業廃棄物収集運搬業 00400007476	許可	平成29年11月5日		汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く)		
	有効	令和4年11月4日				
宮城県特別管理産業廃棄物収集運搬業 00450007476	許可	平成29年11月5日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)、廃酸(水素イオン濃度指数2.0以下のものに限る)		
	有効	令和4年11月4日				
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	タンク車	5.0KL	1	トラック	6.0t	1
	タンク車	4.7KL	1	トラック	3.0t	1
	タンク車	3.1KL	1	ダンパー車	2.4t	1
	タンク車	3.0KL	1			

受託した廃油の処理量

2020年度（2020年4月～2021年3月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分場所	処分方法	処理量(t)
油水分離	廃油（産業廃棄物）	(有)東北オイルサービス	油水分離	4,090.3
	廃油（特別管理産業廃棄物）	(有)東北オイルサービス	油水分離	60.3
収集運搬量合計				
中間処理 (リサイクル)	廃油	油水分離		4,150.6
中間処理合計				
中間処理 後の 産業廃棄物	再資源化等 廃油	(委託) いわて県北クリーン(株) 処分方法：焼却		11.5
		(委託) (株)オイルプラントナトリ 処分方法：混合		258.3
		(委託) 太平洋セメント(株)大船渡工場 処分方法：焼却		32.9
		(売却) 再生重油として売却		3,847.9
中間処理後処分量合計				

<処理方法・処理工程>



廃棄物の処理料金については弊社ホームページ <http://touhoku-oil-s.jp> もしくは、電話019-692-1125 までお問い合わせ下さい。

組織図

